

猿 渡 啓 子 教 授 略 歴

略 歴

1975年3月	津田塾大学学芸学部国際関係学科卒業
1978年3月	津田塾大学大学院国際関係学研究科修士課程修了
1984年3月	一橋大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学
1984年6月	日本学術振興会奨励研究員
1985年4月	城西大学経済学部専任講師
1989年4月	城西大学経済学部助教授
1991年4月	東北大学経済学部助教授
1994年4月	東北大学経済学部教授
1999年4月	東北大学大学院経済学研究科教授
2017年3月	東北大学を定年退職

学位・称号

2013年1月	一橋大学博士（社会学）
2017年3月	東北大学名誉教授

学会における役職

1. 日本比較経営学会理事（2011～2012年度）
2. 社会経済史学会評議員（1998～2016年度）

猿 渡 啓 子 教 授 著 作 目 録

著書：

[共著]

1. 米川伸一・小池賢治（編）『発展途上国の企業経営—担い手と戦略の変遷』（アジア経済研究所, 1986年3月）.
2. 堀井健三・萩原宜之（編）『現代マレーシアの社会・経済変容』（アジア経済研究所, 1988年3月）.
3. 堀井健三（編）『マレーシアの社会再編と種族問題—ブミプトラ政策20年の帰結—』（アジア経済研究所, 1989年3月）.
4. 堀井健三（編）『マレーシアの工業化—多民族国家と工業化の展開』（アジア経済研究所, 1990年3月）.
5. イギリス都市・農村共同体研究会/東北大学経済史・経営史研究会（編）『イギリス都市史研究』（日本経済評論社, 2004年3月）.

[単著]

6. 猿渡啓子（著）『フリースタンディング・カンパニーとクラスター』（同文館, 2014年2月）.

論文（単著）：

1. 「イギリス商社の経営戦略と組織—ガスリー社の事例（1821～1981年）—」『経営史学』第17巻4号, 1983年1月.
2. 「イギリス植民地商社の多角的成長：ハリスンズ・アンド・クロスフィールド社の事例, 1844～1982年」『一橋論叢』第90巻3号, 1983年.
3. 「マレーシア商品作物栽培業の発展とイギリス商社」『社会経済史学』第50巻第3号, 1984年10月.
4. 「イギリス商社と傘下事業会社の取締役兼任—東南アジアの事例」『城西経済学会誌』第21巻第2・3号, 1985年12月.
5. 「アントニー・ギブス商会の史的展開—オーストラリアにおける企業者活動との関連で」城西大学大学院『研究年報』第2号, 1986年3月.
6. “Malaysia’s Localization Policy and Its Impact on British-Owned Enterprises,” in *The Developing Economies*, XXIX-4, December 1991.
7. 「Mira Wilkins によるフリースタンディング・カンパニー論の検討」研究年報『経済学』（東北大学）第65巻4号, 2004年3月.
8. 「J.-F. Hennart によるフリースタンディング・カンパニー論の検討」研究年報『経済学』（東北大学）第67巻1号, 2005年9月.
9. 「M. Casson によるフリースタンディング・カンパニー論の検討」研究年報『経済学』（東北大学）第68巻3号, 2007年3月.
10. 「フリースタンディング・カンパニー論—英領マラヤのゴム栽培会社を中心に」研究年報『経済学』（東北大学）第72巻3号, 2012年3月.
11. 「フリースタンディング・カンパニーのクラスター形成の契機—英領マラヤにおけるゴム栽培会社の発起と証券引受」研究年報『経済学』（東北大学）第73巻1・2号, 2012年10月.
12. 「フリースタンディング・カンパニーのクラスターにおける資金的資源の取引—イギリス商社とゴム栽培会社のクラスターの事例」研究年報『経済学』（東北大学）第73巻3号, 2013年3月.
13. 「国営石油会社ペトロナスの技術能力構築と競争優位—石油探鉱開発契約と市場セグメントの創出を通じた技術能力構築」研究年報『経済学』（東北大学）第76巻第1号, 2018年3月.